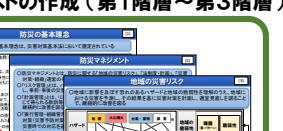
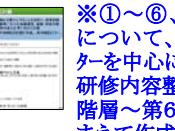
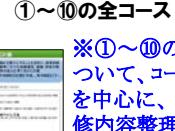
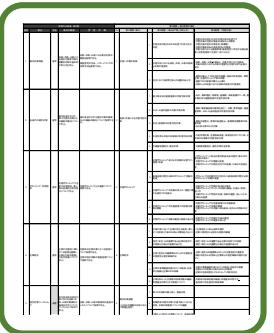
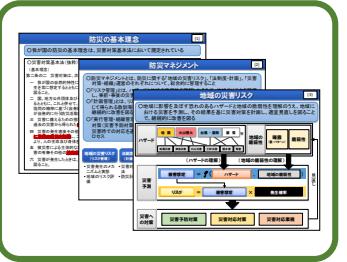


「防災スペシャリスト養成」検討の流れ

	コースの変遷	研修体系の検証・見直し等		標準テキストの作成	研修指導要領の整備	eラーニングの設計	能力証明の仕組みの設定	人的ネットワークの活性化
		コース構成表	研修体系					
H25年度	3コースの研修  ・幹部コース ・防災中堅コース ・防災一般コース	(コースのコマ割りの見直し)	26の防災活動の設定 	※「防止基本計画」を基に、防災スペシャリストが実施する26の防災活動を整理した上で、能力を身につけるための学習項目を整理				
H26年度	10コースに拡大した研修  <防災基礎コース> ①防災基礎 <個別対策コース> ②減災対策 ③訓練企画 ④警報避難 ⑤物資物流・広域行政 ⑥避難収容・被災者支援 ⑦復旧復興 <総合管理コース> ⑧計画立案 ⑨広報 ⑩総合	コマ割りの見直し(10コースごと)  ※コース別に、コースの「単元構成」、「研修手法」、「単元の概要」、単元ごとの「学習目標」を計画(カリキュラム)	研修コースの設定(10コースの設定)  ※26の防災活動が適切に実施できるようになるために、身につけるべき能力の観点から研修コースを設定	構造化表の作成(10コースごとに作成)  ※受講者が理解しやすいコースとなるように、コースごとに学習項目を構造化して整理したうえで、単元で学習する内容の範囲を設定	講師資料の収集(10コース分)  標準テキスト(案)の作成(10コースごと)  ※施設研修やeラーニング等、すべての研修の共通基礎となる「標準テキスト」について、作成方法を設定した上で、研修資料を取りまとめ作成	eラーニングの仕組み ○整備段階の検討 Step1 研修受講資格取得 Step2 ①防災基礎 Step3 ②減災対策 ③訓練企画 ④警報避難 ⑤物資物流・広域行政 ⑥避難収容 ⑦復旧復興 Step4 ⑧計画立案 ⑨広報 ⑩総合 ○コンテンツの目的と内容、学習の流れ、整備・運用方針の検討	能力評価の仕組み ○個人の能力評価の検討 1)研修受講資格 2)人的ネットワーク参加資格 ○組織の能力評価の検討 以下の5つの観点で組織の能力評価を評価 1)能力の高いリーダーがある 2)専門的能力のある職員がバランスよくいる 3)防災基礎能力のある職員が多くいる 4)組織内に学びの仕組みがある 5)一人一人の能力が高い	人的ネットワークの仕組み ○仕組みの検討 1)専用ホームページを通じた交流の場 2)直接交流の場 3)経験の場 (平時)設研修の講師経験 (災害時)被災地への応援経験
H27年度	10コースの研修 <防災基礎コース> ①防災基礎 <個別対策コース> ②減災対策 ③訓練企画 ④警報避難 ⑤物資物流・広域行政 ⑥避難所運営・被災者支援 ⑦復旧復興 <総合管理コース> ⑧計画立案 ⑨広報 ⑩総合	コマ割りの見直し(10コースごと)  ※平成26年度の研修を踏まえて、コース別に講座の内容を見直し コーディネーターを委嘱した4コース(左記の①、②、④、⑥)については、コーディネーターを中心に見直し	コーディネーター委嘱 4コース(①②④⑥)  ※研修内容の適正化を図るために、コーディネーターの意見を踏まえて、コース間の学習内容の見直しを実施	(企画検討会、コーディネーター)標準テキストの作成(第1階層～第3階層)  ※標準的な研修のコースや講座の設定を行うために、研修内容の見直しの結果を踏まえて、研修の体系を設定し、コースの見直しを実施	研修指導要領整備の検討 ○研修指導要領の位置づけの検討 1)文部科学省学習指導要領の仕組み、位置づけの把握等 2)研修指導要領の位置づけ	eラーニングの設計 ○クイズ・テストの出題範囲や作成方法の検討 ・スライド学習 ・研修受講資格取得	能力評価の仕組みの内容の検討 ○個人の能力評価の仕組みの検討 ○組織の能力評価の方法の検討	人的ネットワークの活性化 ○Facebookの開設の検討
H28年度有明(第一期)	10コースの研修(コース見直し) ①防災基礎 ②災害への備え ③警報避難 ④応急活動・資源管理 ⑤被災者支援 ⑥復旧復興 ⑦指揮統制 ⑧対策立案 ⑨人材育成 ⑩総合防災	コース構成表の見直し(研修内容整理表第4階層、第5階層)(10コースごと) ※①～⑥、⑨のコースは、コーディネーターを中心に見直しを実施	研修内容整理表(第4階層～第6階層)の作成  ※①～⑥、⑨のコースを中心、構造化表とコース構成表(第4階層、第5階層)を踏まえて、研修内容を体系的に整理(第6階層まで具体化)	標準テキスト(第4階層)の作成①～⑥、⑨  ※①～⑥、⑨のコースについて、コーディネーターを中心に、左記の研修内容整理表(第4階層～第6階層)を踏まえて作成	研修指導要領整備の検討 ○研修指導要領の内容の検討			
H28年度有明(第二期)予定	10コースの研修(コース見直し) ①防災基礎 ②災害への備え ③警報避難 ④応急活動・資源管理 ⑤被災者支援 ⑥復旧復興 ⑦指揮統制 ⑧対策立案 ⑨人材育成 ⑩総合防災	コース構成表の見直し(研修内容整理表第4階層、第5階層)(10コースごと) ※①～⑩の全コースを、コーディネーターを中心に見直しを実施	標準テキスト(第4階層、第5階層)の作成①～⑩の全コース  ※①～⑩の全コースについて、コーディネーターを中心に、左記の研修内容整理表(第4階層～第6階層)を踏まえて作成、見直し	知識体系の整理表へ				



研修内容整理表
(第1階層～第6階層)



標準テキスト
(第1階層～第4階層)

コースの変遷	研修体系の検証・見直し等		標準テキストの作成	研修指導要領の整備	eラーニングの設計	能力証明の仕組みの設定	人的ネットワークの活性化
	コース構成表	研修体系					
H28年度 次年度に向けて		知識体系の整理表 <p>※「研修内容整理表」と「標準テキスト」を参考に、防災スペシャリストが身につけるべき知識を体系的に整理(第1階層から第7階層まで具体化)</p>					